

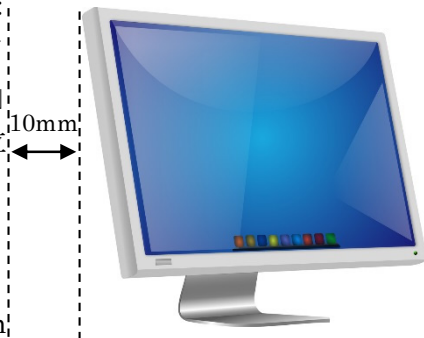
この紙面とほぼ同じ体裁になるよう、課題用ファイルを加工しなさい(完全に同一でなくてもよい)。指示が書かれたテキストボックスと矢印は無視してよい。

専攻名 学籍番号 名前

図オブジェクトを「自由に配置できる図」として扱う場合、図の位置を定める方法として2つの方法があります。1つは「文章とともに移動」、もう1つは「位置を固定」です。

位置を固定するには、図をクリックして、「図ツール：書式」→「配置：文字列の折り返し」→「その他のレイアウトオプション」→「位置：下方向の距離」の「基準」を「ページ（紙の端からの距離）」か「余白（マージン位置からの距離）」に設定します。

図と外側の文章の間隔は「配置：文字列の折り返し」→「その他のレイアウトオプション」→「文字列の折り返し：文字列との間隔」で設定します。「左」を10mmに設定して下さい。



「挿入」→「図：オンライン画像」のBing イメージ検索で「ディスプレイ」を検索して挿入し、縮小。

「文字列の折り返し」は「四角」

図オブジェクトをクリックするとアンカー（錨マーク）が表示されます。図オブジェクトは必ずどこかの段落に結びつけられます。図の位置を固定した場合、アンカーをつけた段落がページをまたいで移動すると、図もページをまたいで移動します。

長方形を描いて下さい。

「文字列の折り返し」は「前面」

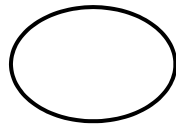
図を移動させるとアンカーが付く段落は最寄りの段落に自動的に変更されます。アンカーをドラッグすると、結びつける段落を手動で設定することができます。アンカーを段落に固定することもできます。

この長方形は「挿入」→「図：図形」→「正方形／長方形」で挿入した後、「描画ツール：書式」→「図形のスタイル：図形の塗りつぶし」を「塗りつぶしなし」、「図形のスタイル：図形の枠線」を「黒、1.5pt」に設定しました。「下方向の距離」を「段落」にしておくと、段落の位置が移動すると、長方形も連動して移動します。

このページの先頭に改行をいくつか入れ、ディスプレイは不動で、長方形は移動することを確認して下さい。



描画キャンバスの左上に長方形、右下に楕円を描いて下さい。図形の枠線の色は黒、太さ1.5pt



図形の微調整は拡大率を上げて操作して下さい。カーソル移動キーで位置の微調整ができます。図形操作時に shift キーを押すと几帳面な動作(移動／回転／拡大など場合によって動作が異なるので表現しづらい)になります。alt キーを押すとカクカクした動きになります。

複数の図形をまとめて扱いたいときは「描画キャンバス」の中に描きます。「挿入」→「図：図形」→「新しい描画キャンバス」です。描画キャンバスを作成した後、「描画ツール：書式」→「配置：文字列の折り返し」→「四角」にして下さい。

文章を書きたいときは「挿入」→「図：図形」→「基本図形：テキストボックス」です。

下のように円を4つ描き、規則正しく並べて下さい。



円を1つ描き、3回コピーして下さい。線の太さは1ptです。上下位置を揃え、等間隔に整列させて下さい。複数の図形を選択するのは shift を押しながらクリックです。整列は「描画ツール：書式」→「配置：配置」です。

この文章はテキストボックスの中に書いています。この文章はテキストボックスの中に書いています。

テキストボックスを作成して下さい。文字サイズは9pt、行間固定値14ptです。枠と外側の文字の間隔は、上4mm、左10mmです。枠と内側の文字の間隔は、上5mm、左右7mmです。その設定は「描画ツール：書式」→「図形のスタイルの右下の△」→「レイアウトとプロパティ」→「テキストボックス」です。中の文章は入力して下さい。